

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策No.	1161	施策名	安心の水が潤うまち	担当課	水道課
大項目	安全で快適なまちづくり			関係課	
基本方針	市民ニーズに対応した、「安心・安全で安定した、おいしい水」の供給に努めるとともに、老朽化した水道施設の計画的な改良により災害に強い水道を目指します。 経営の健全化及び効率的な施設整備により、運営基盤の強化と水資源の有効利用を図ります。				

<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	水道施設整備事業											
事務事業の目的					事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
水道利用者		<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した水道施設の改良工事を実施し、漏水事故を未然に防ぎ、利用者に安心で安定した給水を確保する。 配水池及び配水管の耐震化を行い災害に強い水道を目指す。 			<ul style="list-style-type: none"> 老朽管の更新を行うと同時に耐震管路化を図る。 配水池の耐震化工事を実施する。 未給水地区解消事業を推進し普及率の向上を図る。 道路改良事業等に併せて配水管の改良を行う。 							
取組内容	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	<ul style="list-style-type: none"> 配水池・ポンプ室耐震補強工事 真鍋島送水ポンプ室、山代配水池、園井配水池 老朽配水管改良工事 番町・山口地区 			<ul style="list-style-type: none"> 配水池・ポンプ室耐震補強工事 旭が丘配水池 老朽配水管改良工事 番町・山口地区 未給水地区解消事業 甲弩地区 			<ul style="list-style-type: none"> 配水池・ポンプ室耐震補強工事 北木島北加圧ポンプ室、高島配水池 老朽配水管改良工事 番町・山口地区 			<ul style="list-style-type: none"> 配水池・ポンプ室耐震補強工事 旭が丘加圧ポンプ室 老朽配水管改良工事 番町・山口地区 未給水地区解消事業 吉田地区 		
直接事業費	決算額	282,863	千円	決算額	354,979	千円	決算額	250,455	千円	決算額	223,231	千円
	うち一般財源	194,242	千円	うち一般財源	102,696	千円	うち一般財源	85,440	千円	うち一般財源	96,681	千円

2	水道施設維持管理事業											
事務事業の目的					事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
水道利用者		<ul style="list-style-type: none"> 配水管等の的確な漏水調査と速やかな修繕により、有収率の維持向上を図り水道供給コストの低減化と安定した給水を行う。 水質検査の実施、適切な施設の維持管理により、利用者が安心して使用できる水を提供する。 			<ul style="list-style-type: none"> 経年老朽管等の漏水を早期に発見・修繕し漏水量を低減し、有収率の向上を図る。 給水装置工事業者に工事施工に当たっての適正な指導・監督を行う。 施設の巡回点検・保守点検・修理の実施により、施設の延命化を図る。 							
取組内容	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	<ul style="list-style-type: none"> 漏水調査 抽出地区の漏水調査実施による漏水箇所の早期発見 笠岡配水池系(神島) 施設の日々巡回点検に加え毎月の保守点検の実施 漏水修繕<474件> 調査及び通報等による漏水箇所の修繕実施 			<ul style="list-style-type: none"> 漏水調査 笠岡配水池系(笠岡)、北川低区配水池系(走出) 漏水修繕<432件> 			<ul style="list-style-type: none"> 漏水調査 金浦・笠岡(西の浜)・大井南地区、北木島南配水池系(大浦、楠地区)、大宜団地 漏水修繕<452件> 			<ul style="list-style-type: none"> 漏水調査 北川・尾坂・入田・広浜・馬飼地区、関戸団地 漏水修繕<371件> 		
直接事業費	決算額	68,544	千円	決算額	81,206	千円	決算額	92,329	千円	決算額	83,653	千円
	うち一般財源	67,918	千円	うち一般財源	80,556	千円	うち一般財源	90,362	千円	うち一般財源	81,840	千円

3 水道料金等の徴収事務		事務事業の目的				事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
水道料金等を滞納している者		「新たな滞納を作らない」という目標の基に、現年度目標収納率を99.4%とし、現年度・過年度分の未収金を縮減する。				1 電話催告・個別訪問等による徴収を行い、常習的、悪質な滞納者には給水停止を執行する。 2 現年度分滞納者に対し即座に催告・給水停止予告書を送付し多期に渡る滞納を防ぐ。 3 過年度滞納者に対し履行可能な分納誓約書を取る。 4 口座振替の推進及びコンビニ収納の有効活用を図る。						
取組内容		平成23年度	平成24年度		平成25年度		平成26年度					
●水道事業会計健全化事業 ・口座振替率の向上 ・コンビニ収納の有効な活用 ・閉栓時の現場精算の活用 ・無届使用防止のためのレバー撤去 <現年度分収納率:99.6%>		⇒		⇒		⇒						
		<現年度分収納率:99.6%>		<現年度分収納率:99.5%>		<現年度分収納率:99.5%>						
直接 事業費	決算額	4,941	千円	決算額	4,209	千円	決算額	3,669	千円	決算額	3,642	千円
	うち 一般財源	4,941	千円	うち 一般財源	4,209	千円	うち 一般財源	3,669	千円	うち 一般財源	3,642	千円

4 水道総務事業		事務事業の目的				事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
関係職員		・水道事業の安定的運営のため、専門的な知識・技術をもつ職員を育成する。				・豊富な知識・経験を持つ熟練職員による指導を行う。 ・日本水道協会等が実施する技術講習会等に積極的に参加し、人材育成を図る。 ・技術を継承するため、人材の確保を図る。						
取組内容		平成23年度	平成24年度		平成25年度		平成26年度					
●人材育成 ・日本水道協会等が実施する技術講習会等への参加		⇒		⇒		⇒						
直接 事業費	決算額	724	千円	決算額	499	千円	決算額	539	千円	決算額	396	千円
	うち 一般財源	724	千円	うち 一般財源	499	千円	うち 一般財源	539	千円	うち 一般財源	396	千円

5 水質管理事業		事務事業の目的				事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
水道利用者		・計画的な水質検査を実施することにより、安心安全な水を安定的に提供する。				・水質検査計画に基づき、適切な水質検査を行う。 ・常時水質(残留塩素、色度、濁度)を監視出来るシステムを順次導入する。 ・施設の日々巡回点検の実施により異常の早期発見を目指す。						
取組内容		平成23年度	平成24年度		平成25年度		平成26年度					
●水質管理 ・水質検査計画(年間計36回)に基づいた水質検査の実施 ・施設の日々巡回点検の実施		⇒		⇒		⇒						
		・常時水質を監視できるシステムを大井加圧ポンプ室に導入		・常時水質を監視できるシステムを北木島北加圧ポンプ室に導入								
直接 事業費	決算額	1,838	千円	決算額	10,518	千円	決算額	1,699	千円	決算額	11,666	千円
	うち 一般財源	1,838	千円	うち 一般財源	10,518	千円	うち 一般財源	1,699	千円	うち 一般財源	11,666	千円

<3.施策の直接事業費(2の合計)>

		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
直接 事業費		358,910	千円	451,411	千円	348,691	千円	322,588	千円
うち 一般財源		269,663	千円	198,478	千円	181,709	千円	194,225	千円

<4.指標>

指標名			目標・実績の推移						
			H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H29 目標	
1	配水施設(基幹配水池)耐震化率	単位	目標				100.0	100.0	100.0
		%	実績	74.5	84.2	87.4	87.9	87.9	
			達成率				87.9%	87.9%	
2	配水施設(管路)耐震化率	単位	目標				5.0	6.0	10.0
		%	実績	4.3	4.8	5.2	5.7	6.4	
			達成率				114.0%	106.7%	
3	1年間に更新する老朽管の割合	単位	目標				2.5	2.5	2.5
		%	実績	0.7	0.5	0.4	0.7	0.3	
			達成率				28.0%	12.0%	
4	有収率(年間総有収水量/年間総配水量)	単位	目標				94.4	94.6	95.0
		%	実績	91.2	92.6	91.6	89.9	89.6	
			達成率				95.2%	94.7%	
5	水道水を安心して使用できると感じている市民の割合(市民意識調査)	単位	目標				—	60.0	80.0
		%	実績	60.1	—	52.7	—	60.7	
			達成率				—	101.2%	

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

委員コメント	対応・回答
・技術的かつコスト的に可能ならば小規模分散型水道施設が望ましいと考えられます。	→ 施設の数が増えるとコストが増加すると考えられますので、現時点では考えておりませんが、今後も小規模分散型水道施設に関する情報収集は続けたいと思います。
・大規模な漏水が発生したとのことですが、1年間に更新する老朽管率を高めリスク回避をしたほうが後の経費には有利と思います。	→ 平成27年度は、老朽配水管布設替予算を増額して老朽管の更新を行います。
・ご存知とは思いますが、水道代の高コストは笠岡離れの原因の一つだと思います。しかしそれに対応した施策が無いのが気になります。	→ 水道事業につきましては、水道料金収入が年々減少する一方で、今後、水道施設の更新や耐震対策に多額の費用が必要となります。そこで、中長期の施設更新計画策定を予定しておりまして、この計画の中で水道料金の適正化について検討します。

<6.平成26年度の振り返り>(担当部署自己評価)

事業の進捗度	A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B
--------	--	----------

<7.施策の課題と改善案>

課題と改善案	<ul style="list-style-type: none"> 水道施設整備事業については、マッピングシステム等を有効利用しながら、老朽水道施設更新計画の策定に取り組む。 水道施設維持管理事業については、効率的な漏水調査、早期修繕、保守点検などにより施設の延命化に取り組み、有収率の向上を図る。 水道料金等の徴収事務については、「新たな滞納をつくらない」ように現年度分収納率の維持・向上を図る。 水道総務事業については、技術を継承する人材の確保、熟練職員による技術の継承、職員の積極的な研修参加に取り組む。 水質管理事業については、西南水道企業団と情報共有して安心安全な水を供給するとともに、年次的に水質監視装置を設置する。
--------	--

<8.委員による評価結果>

総合評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	B
コメント	<ul style="list-style-type: none"> 老朽管の更新を進められたい。 老朽配水管の敷設替を余裕を持って行えるようにしていただきたい。 			